

**生涯学習係 「ワクワク子育てトーク」～ぐんまの親の学びプログラム～をご存じですか？**

「ワクワク子育てトーク」は、「保護者懇談会」「PTA行事」「就学時健診時の子育て講座」など、多くの親が集まる機会に、参加者（親）が、相互の関わり合いを通して、家庭教育の大切さを再認識できる参加体験型学習プログラム集です。ぜひ、ご活用下さい。※プログラムは、「群馬県生涯学習センターWebページ」からダウンロードできます。

**「ワクワク子育てトーク」の特徴**

親子のエピソードをもとにしたロールプレイング（役割演技）により、親の役割や子どもへの対応を考えるとともに、親どうしのつながりを深めて、子育てのコツをつかんだり悩みを軽減できたりします。  
☆「小中学生の親向け」「これから親になる高校生向け」等、子どもの年代別にプログラムが用意されています。

**「ワクワク子育てトーク」の進め方**

講師はいりません。ファシリテーター（進行役）が、プログラムの『エピソード台本』『進行の方法』により、少人数に班分けした参加者（親）の活動を促します。（所要時間15～90分）

☆ファシリテーターは、先生やPTA役員はもちろんのこと、参加者（親）が交代で行うこともできます。

**プログラムの例****【エピソード】**

小学1年生になったAさんと「自分で使ったものは、自分で片付ける」ことを約束しました。約束をしてから、2、3日はがんばっていましたが、だんだん続かなくなってしまいました。そこでお母さんは「……」

**【ファシリテーターの進行】**

- 1 エピソードを読み、場面を確認した後「お母さんだったら何というか」考えてもらう。
- 2 2人組になって、お母さんとAさんに分かれて、役割演技をしてもらう。このとき、感じたこと等をメモしてもらう。
- 3 役割演技をして、感じたこと等を発表し合ってもらう。その後、子どもの接し方について意見交換してもらう。

**【参加者の感想】**

○「ワクワク子育てトーク」を通して、子どもの接し方で悩みを持っているのは、自分だけではないことが分かり、心が軽くなりました。また、同じ学年の子どもを持つ親どうしのつながりが深まったと感じました。



※「ワクワク子育てトーク」についてのお問い合わせは、利根教育事務所生涯学習係（23-0165）まで。